

特集① 経営トップ×機関投資家対談 P.18



コア技術に経営資源をフォーカスし、
持続可能な社会、多様なステークホルダーに
なくてはならない企業へ

●新たな中期経営計画(5カ年)を策定、スタート

前中期経営計画が2023年度で終了。新たに策定したパーパス、10年後のありたい姿からバックキャストして策定した新中期経営計画がスタート。



トップメッセージ P.12



パーパスの実現、次なるステージへ

もっと豊かで、もっと効率的な社会へ——
中長期の「ありたい姿」からバックキャストして策定した
中期経営計画2028『進化の実現』でさらなる高みを目指す

●新マテリアリティ「技術」「人財」

将来に向けた事業ポートフォリオの拡大とビジネスモデルの強化に
欠かせない「技術」と「人財」(価値創出の源泉)をマテリアリティとして
設定。新たな中期経営計画の重要課題、非財務投資対象としても反映。



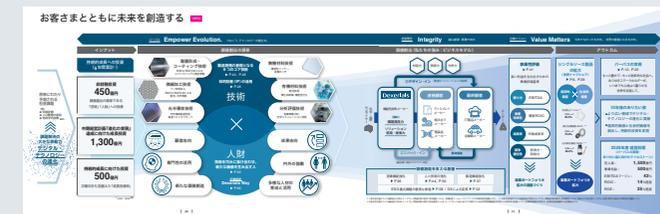
特集② パーパス策定プロジェクト社員対談 P.22



私たちの礎 - パーパス策定の軌跡
～未来を見据え込めた思いと策定の経緯・プロセス～

●デクセリアルズの価値創造プロセス

パーパスと10年後のありたい姿の実現に向けた、当社らしい
価値創造プロセスを明確化。



●サステナビリティポリシーを設定

「デクセリアルズが目指すサステナビリティの本質」
をパーパスや成長戦略、強み等を踏まえ明らかにし
たポリシーを設定。(現行のCSR方針を見直し)



●13のESG重点課題を設定

事業を通じた価値の創造を支え、潜在的
経営リスクを低減することを目的として、
非財務の重点課題を多角的な視点・プロ
セスを経て抽出・特定。



ESG 重点課題

Contents

イントロダクション

- 2 メイントピックス(本レポートの見どころ)
- 4 価値創造のあゆみ
- 6 At a Glance
- 8 事業セグメント
- 9 私たちの製品(光半導体)
- 10 こんなところにデクセリアルズ - 社会システムを支える -

価値創造ストーリー

- 12 トップメッセージ
- 18 特集①：経営トップ×機関投資家対談
- 22 特集②：私たちの礎 - パーパス策定の軌跡(社員対談)
- 26 デクセリアルズの価値創造プロセス
- 29 テクノロジーの進化が生み出す社会的価値
～情報コミュニケーションの発展と当社製品の技術革新～

価値創造戦略

- 32 中期経営計画2028『進化の実現』
- 36 営業・製造機能強化
- 38 財務戦略
- 41 事業性評価
- 42 フォトニクス領域での事業成長
- 44 マテリアリティ①
「技術」の強化(技術戦略 / イノベーション / 知的財産戦略)
- 50 マテリアリティ②
「人材」の強化(人材戦略)
- 52 DX(デジタルトランスフォーメーション)による変革の加速

文中のアイコンについて

TOPICS

注目いただきたい、最新の取り組みを明示

技術×人財

当社のマテリアリティ(□P.56)に関連する方向性や考え方・取り組みを明示

ESG重点課題

当社のESG重点課題(□P.56)と関連する取り組みを明示

価値創造基盤

- 54 サステナビリティマネジメント
- 55 サステナビリティ推進(サステナビリティポリシー)
- 56 マテリアリティとESG重点課題

E【環境】

- 60 環境マネジメント / 汚染防止
- 61 化学物質管理 / 資源循環
- 62 TCFD提言に基づく情報開示



S【社会】

- 66 持続的な価値創出のための人事制度
- 67 人材育成
- 69 ダイバーシティ
- 70 人権の尊重
- 71 多様な働き方とワークライフバランス
- 72 健康経営
- 73 労働安全
- 75 製品品質
- 77 社会貢献活動



G【ガバナンス】

- 78 コーポレート・ガバナンス
- 84 役員一覧
- 86 新任社外取締役メッセージ
- 87 株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション
- 88 コンプライアンス
- 90 リスクマネジメント
- 92 BCP(事業継続計画)の取り組み / 情報セキュリティの強化
- 93 サプライチェーンマネジメント



データセクション

- 95 財務データ
- 96 非財務データ
- 98 会社情報 / 株式情報 / 外部評価
- 99 第三者意見

コミュニケーションマップ

詳細な財務情報：有価証券報告書やウェブサイト投資家情報等ご参照
詳細なサステナビリティ情報：ウェブサイトサステナビリティ情報等ご参照



編集方針

2019年度より、すべてのステークホルダーの皆さまに、デクセリアルズグループの成長戦略や、業績、財務情報、非財務情報についてご報告し、ご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、デクセリアルズ統合レポートを作成しています。

対象範囲・期間

対象範囲：本レポートは、デクセリアルズ株式会社および国内外の連結子会社を対象としています。
対象期間：本レポートは、2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の活動実績を原則とし、一部の報告・データについては過去および最新情報を記載しています。

参照ガイドライン

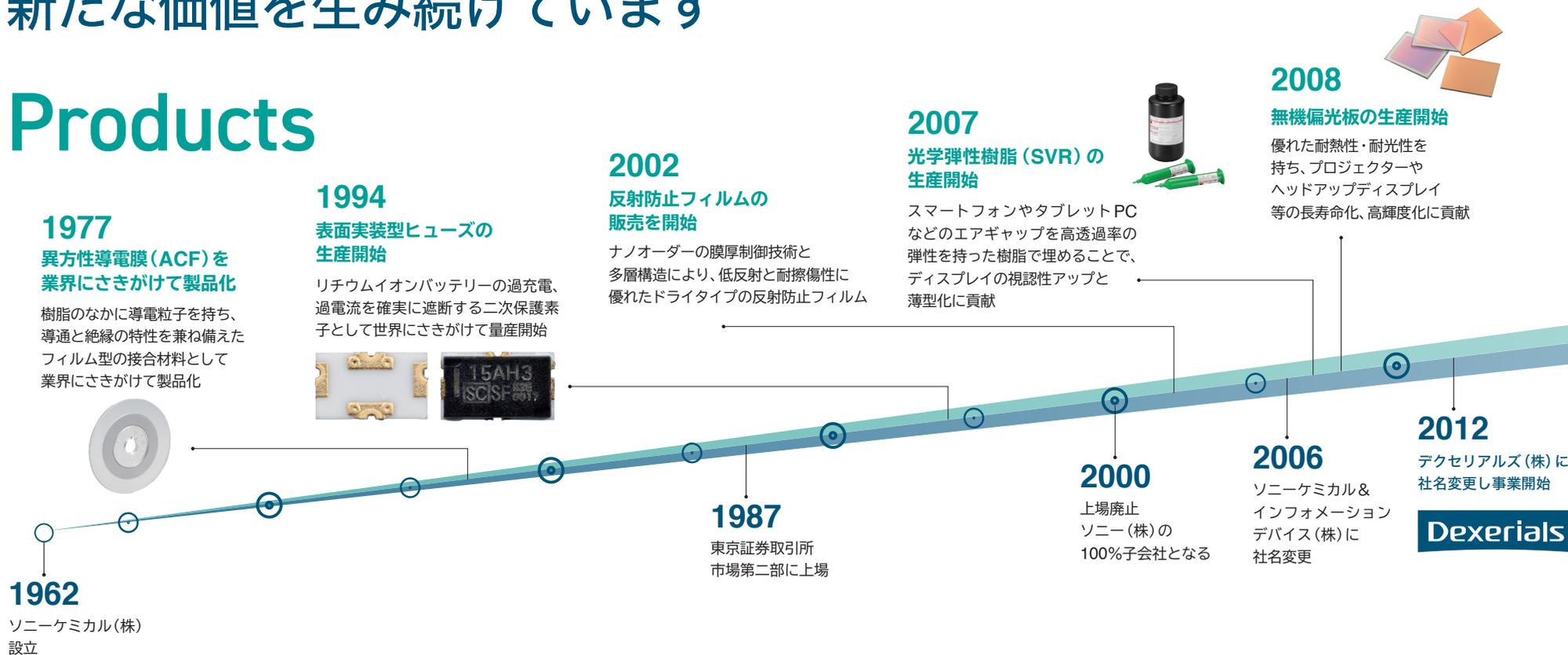
IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
GRI「GRI Standards」
ISO26000
環境省「環境報告ガイドライン 2018年版」

将来の見通しに関する注意

本レポートに記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来に関する記述の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があり、当社として将来計画の達成を約束する趣旨のものではありません。

社会の変化の先頭に立ちチャレンジし続け、 新たな価値を生み続けています

Products



Company

1962年の前身としての創業以来、当社は社会や技術の変化を先取りした価値の創出で、テクノロジーの進化を支えてきました。

2024年 — 私たちのさらなる挑戦に向けたスタートを切りました。私たちの礎・パーパス『Empower Evolution. つなごう、テクノロジーの進化を。』のもと、豊かで効率的な社会の実現への貢献を目指し、今までなかった、世界の価値になる、デジタル・テクノロジーの進化に欠かせない材料・デバイス、ソリューションを生み出していきます。

2014

医療用アイシールド材「DxShield」生産開始

表面にナノレベル凹凸構造を形成することで、反射防止と高透明度を実現したモスアイタイプフィルム



2016

粒子整列型異方性導電膜(ACF)「アレイフィックス」を製品化

樹脂のなかの導電粒子を意図した位置に整列させることにより、狭小スペースでも多数の配線を安定して接続できる接合材料



2015

- 東京証券取引所市場第一部に上場
- 特例子会社デクセリアルズ希望(株)事業開始

2016

栃木事業所稼働開始

2020

- 反射防止フィルム「HDシリーズ」を開発
- インクジェット塗布に対応した光学弾性樹脂「Jettable SVR」を開発



2021

蛍光体フィルム「PSシリーズ」を製品化

直下型LEDバックライト搭載液晶ディスプレイのダイナミックレンジ拡大、広色域化および薄型化を実現

2022

(株) 京都セミコンダクター(現: デクセリアルズ フォトニクスソリューションズ(株))がデクセリアルズグループに加入

2023

国内の管理職層に「ジョブ型人事制度」導入

2024

- パーパス・新中期経営計画(5カ年)を公表
- 国内外のグループ全社員に「ジョブ型人事制度」拡大導入
- デクセリアルズ フォトニクスソリューションズ(株) 操業開始

EBITDA

EPS

売上高

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

}}

2028(年度)

中期経営計画「変革と成長2018」

中期経営計画2023「進化への挑戦」

中期経営計画2028
『進化の実現』

Overview FY2023

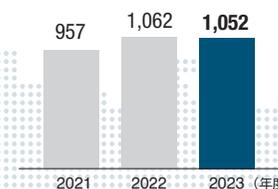
主力製品は、ニッチな市場で世界シェアNo.1を獲得しています。

テクノロジーの進化に欠かせないユニークかつ高付加価値の製品・ソリューションで「稼ぐ力」を高めてきました。

Financial Highlights

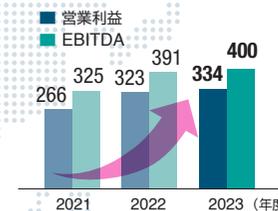
売上高

1,052億円



営業利益/EBITDA

334億円 / 400億円



2023年度は、2019年度から開始した中期経営計画2023「進化への挑戦」の最終年度として、事業環境の変化に強いポートフォリオ拡大の促進や経営基盤の強化に取り組みました。

成長領域では、自動車向け製品の販売拡大や、次世代高速通信を支える光トランシーバー向けの新規顧客を開拓し、製品出荷を開始しました。既存領域では、テクノロジーの進化を先回りした製品の開発・提案に取り組み、精密接合用樹脂や粒子整列型異方性導電膜(ACF)など高付加価値製品の販売を拡大しました。

サプライチェーン上の在庫調整影響などもあり、前期比では減収となりましたが、収益性の向上により営業利益、EBITDAは過去最高益を実現しました。

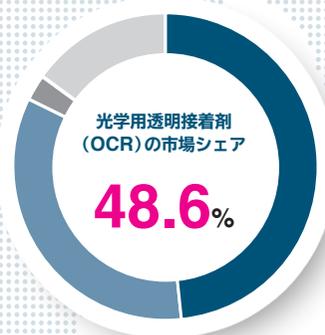
世界シェア

No.1

異方性導電膜(ACF)※1



光学弾性樹脂(SVR)※3



スパッタリング技術で
製造された反射防止フィルム※2



※1 株式会社富士キメラ総研発行「2024 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2023年の金額シェア。

※2 株式会社富士キメラ総研発行「2024 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム(ドライコート)の2023年の金額シェア。

※3 株式会社富士キメラ総研発行「2024 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学用透明接着剤(OCR)の2023年の金額シェア。光学弾性樹脂(SVR)は、光学用透明接着剤の当社製品名です。

有価証券報告書
詳細はウェブサイトをご覧ください



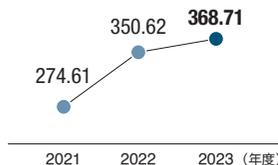
ESG データブック
詳細はウェブサイトをご覧ください



1株当たり当期純利益 (EPS)

368.71 円

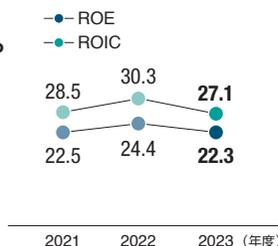
EPSは、当期純利益が最高益を達成したことに加え、自己株式の一部取得・消却も実施したことから、増加しました。



自己資本当期純利益率 (ROE) / 投下資本利益率 (ROIC)

27.1% / **22.3%**

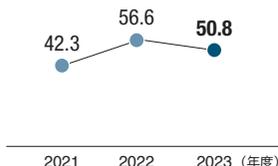
ROEおよびROICは、安定して高水準を維持しており、資本コストおよびWACCを十分に上回る水準と認識しています。



総還元性向 (のれん償却前)

50.8%

総還元性向は、50.8% (のれん償却前) となり、前中期経営計画で掲げた40%程度を目途とした水準を上回る結果となりました。

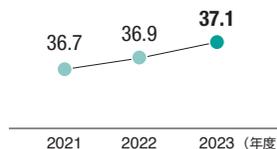


Non-financial Highlights

エンジニア比率

37.1%

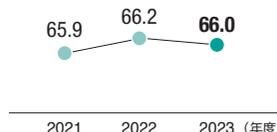
技術とマーケティング機能を強化し、成長を加速させるための体制整備を、積極的に進めています。



海外特許保有率

66.0%

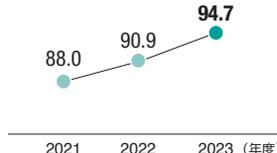
海外特許の取得を強化し、グローバルでの参入障壁と事業競争力をさらに高めています。



新卒採用3年後定着率

94.7%

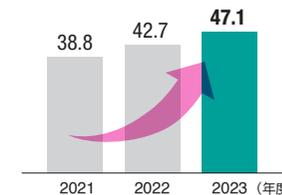
社員一人ひとりが成長できる環境を整備しつつ、キャリアサポートや職場改善に取り組み、社員の長期的な活躍を支えています。



研究開発費

47.1 億円

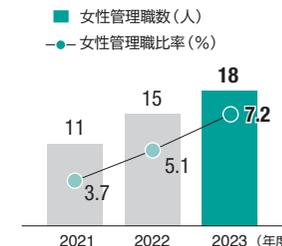
持続的な成長と競争力強化の基盤を着実に築きつつ、開発投資を拡大し、次世代の技術革新を進めています。



女性管理職推移 (単体)

18人 (7.2%)

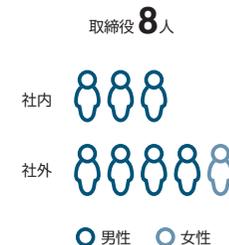
ダイバーシティ推進の一環として、女性活躍の機会創出に取り組んでいます。多様な人材が活躍する環境を継続的につくっていきます。



独立取締役の人数と割合 (2024年11月現在)

5人 (62.5%)

上場以来、社外取締役が過半数を占める体制を維持し、経営の透明性と監督機能を強化し、さらなる成長に向けた基盤を築いています。



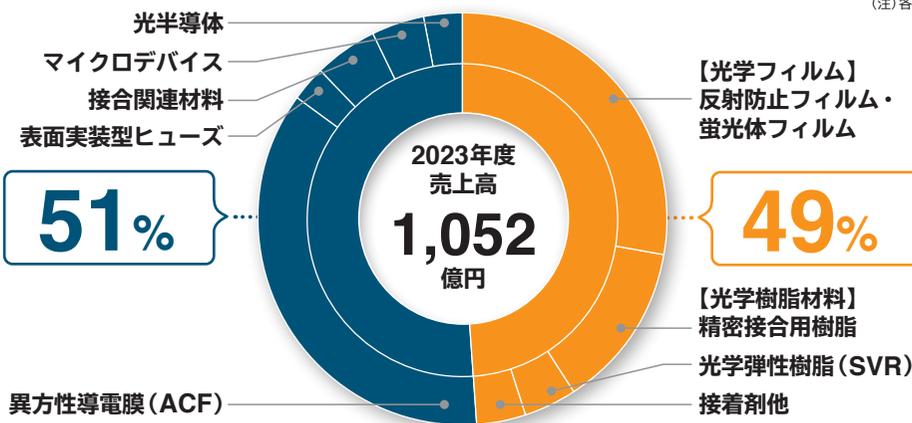
事業セグメント

電子材料部品事業

〈売上高〉 **54,387** 百万円 

〈営業利益〉 **19,167** 百万円 

〈EBITDA〉 **22,135** 百万円 



(注) 各事業は業績開示におけるセグメントに該当し、売上高にはセグメント間取引が含まれています。

光学材料部品事業

〈売上高〉 **51,453** 百万円 

〈営業利益〉 **16,040** 百万円 

〈EBITDA〉 **17,887** 百万円 

当事業は、異方性導電膜 (ACF)、表面実装型ヒューズ、接合関連材料、マイクロデバイス、光半導体などのカテゴリーで構成されています。主力製品である ACF は、1977 年に業界でさきがけて開発・量産しており、優れた技術と品質によって世界市場で高いシェアを有しています。

当事業は、光学フィルム、光学樹脂材料などのカテゴリーで構成されています。主力製品である反射防止フィルムは、当社独自の技術がコンシューマー IT 製品および車載ディスプレイ分野で高い評価を得ています。

主要製品【カテゴリー】

異方性導電膜 (ACF) 【異方性導電膜】



樹脂のなかに導電粒子を持ち、導通と絶縁の特性を兼ね備えたフィルム型の接合材料。ディスプレイパネルやカメラモジュールなどを構成する電子部品の接続に使われています。また、狭小スペースでの実装が可能な粒子整列型 ACF や、基板の形状や端子配置に合わせた形状加工 ACF もラインナップしています。

表面実装型ヒューズ【表面実装型ヒューズ】



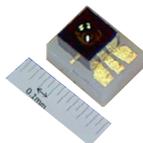
リチウムイオンバッテリーを過充電、過電流などの異常から確実に守る二次保護素子のセルフコントロールプロテクター (SCP) に加え、小型・薄型を保ちながら、過電流保護に特化した大電流対応のヒューズ、パワーカレントプロテクター (PCP) をラインナップしています。

無機偏光板・無機波長板【マイクロデバイス】



高温かつ高光量の環境下での長時間使用に耐える優れた耐久性を持ち、高い光線透過率と低反射率を実現した光学デバイスです。プロジェクターやレーザー光源を使用した光学ユニットの輝度向上や高コントラスト化に貢献しています。

光通信デバイス【光半導体】



光通信デバイスは、移動体通信システムの進化、光ネットワーク拡大に欠かせない製品です。5G 通信用製品に適した超高速のフォトダイオードを始め、受光モジュールや垂直共振器面発光レーザーなどをラインナップしています。

主要製品【カテゴリー】

反射防止フィルム【光学フィルム】



低反射と耐擦傷性に優れるディスプレイ用反射防止フィルム。ディスプレイ表面での外光反射を抑えることで映像のコントラストを維持し、視認性確保に貢献。独自の製造技術 (スパッタリング技術) によって優れた低反射特性を実現しています。

蛍光体フィルム【光学フィルム】



緑色と赤色の蛍光体をフィルム内に分散させた「PS シリーズ」は、ディスプレイのバックライトに組み込むことで青色 LED を光源とする色表現に優れた高品質なディスプレイの実現を可能にします。

光学弾性樹脂 (SVR) 【光学樹脂材料】



スマートフォン、タブレット PC などのディスプレイ内部にある隙間を、光学高透過の弾性樹脂で充填することで、視認性アップと薄型化を実現しています。また、紫外線による仮硬化で粘着特性を発現し、作業性に優れた「ハイブリッド SVR」を中・小型 FPD 向けにラインナップしています。

精密接合用樹脂【光学樹脂材料】



精密接合用樹脂 SA シリーズは、紫外線硬化、熱硬化、紫外線+熱硬化等さまざまな硬化システムを採用した接着剤をラインナップしています。低温、短時間硬化や低収縮を実現し、カメラモジュールや光ピックアップなどの組み立て時の精密固定に適しています。



光半導体



光半導体は、電気を光に、または光を電気に変換することができる物質です。この物質を使った身近な製品には、LED照明やリモコンがあります。その他、私たちがインターネットで動画を見たり、ゲームをしたりする際には、データセンターとの間で大量のデータが高速にやりとりされますが、そのデータ通信を支えているのも**光半導体**です。さらに、医療機器では体内情報の測定に、工場では製造ラインのセンサーに、その他にも数多くの機器のなかで使われています。

光半導体は、今後ますます私たちの生活やビジネスに欠かせないものとなっていきます。



光半導体がエネルギー効率と未来の通信を支える！

光半導体は、気候変動への対応や未来の技術革新において重要な役割を担っています。5Gや生成AIなどの技術の進化に伴い、データ通信の需要増加と高速化の流れは今後も続くことが予想される一方、エネルギー消費量の拡大が懸念されています。電気を使ったデータ通信では、高速通信になるほど電力を多く消費し、熱も大量に発生するのに対し、**光半導体**を使った光でのデータ通信は、通信速度が上がっても電力消費は変わらないことから、エネルギー効率の良いデータ通信が実現できます。

光半導体は、自動運転やスマートシティの実現にも重要な役割を果たします。当社は、次世代ネットワーク構想である「IOWN[※]」に参加し、「半導体」と「**光半導体**」を融合させた先進的なフォトリソ技術・製品の開発を通じて、「IOWN構想」の実現につながる次世代高速通信技術の進化にも広く貢献してまいります。

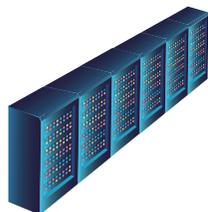
※ IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) 構想: 光通信技術を活用し、低消費電力で超高速かつ大容量のデータ通信を実現するための次世代ネットワーク構想です。これにより、社会のデジタル化やデータ通信の需要増加に対応し、より持続可能な情報インフラを提供することを目指しています。

用途例

- データセンター**: 大量のデータを高速かつ省エネで送受信するために使用 (光トランシーバー)
- 医療機器**: 触ただけで体の状態を正確に測定する機器に活用
- 工場の自動化** (ファクトリーオートメーション): 製造ラインでのセンサーとして、効率化と精度向上に貢献

具体例

次世代高速通信を実現する
光トランシーバー



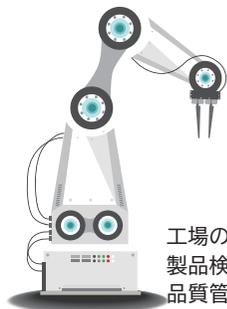
データセンターでの高速データ通信に使用 (光トランシーバー)

非侵襲で正確に測定
パルスオキシメーター



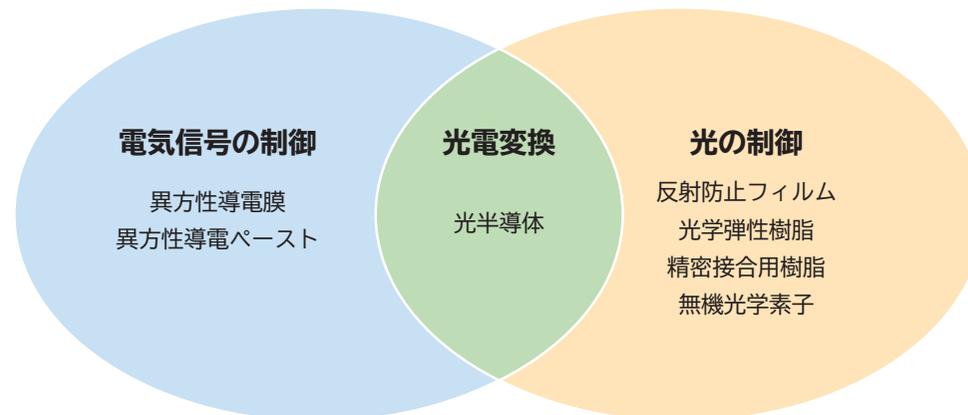
血中酸素濃度を測定する医療機器

工場の自動化に貢献
製造ライン用センサー



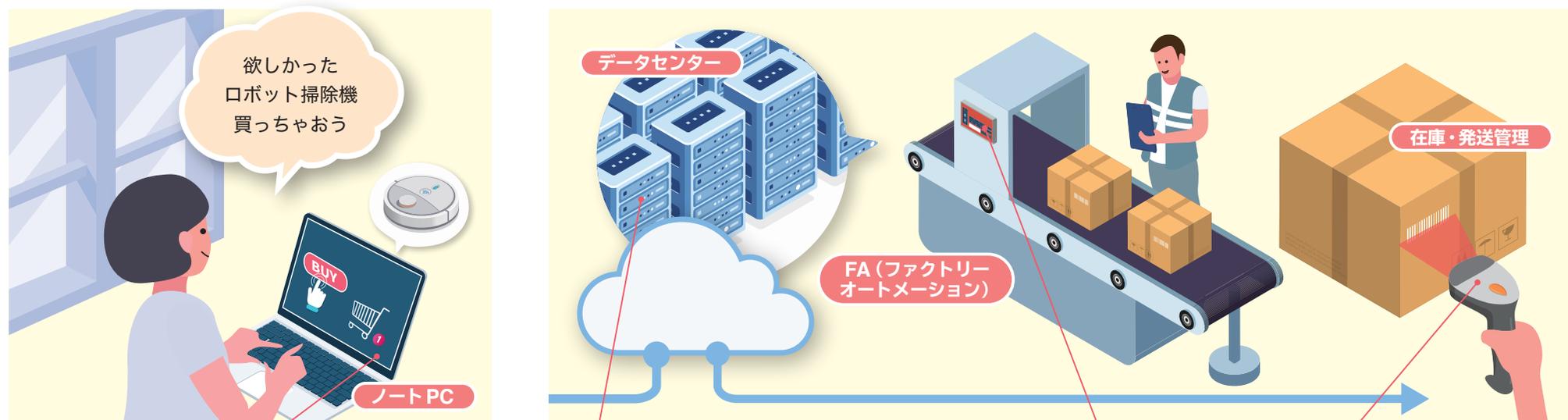
工場の自動化での製品検出や品質管理に利用

電気と光をコントロールする当社製品



こんなところにデクセリアルズ -社会システムを支える-

いまや、私たちの生活になくてはならない社会システムとなっている物流やインターネット通販。
インターネットで注文した商品が皆さまの手に届くまで、その道のりには多くのデジタル・テクノロジーが使われています。
このなかにも、デクセリアルズの多くの製品・テクノロジーが貢献し、社会の仕組みを支えています。
ここでは、インターネットで商品を購入し、届くまでのどんなところにデクセリアルズの製品が使われているのかをご紹介します。



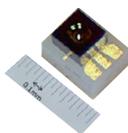
反射防止フィルム

表面のフィルムが外光の映り込みを軽減、PC作業に集中できます。



光半導体デバイス： フォトダイオード

光信号／電気信号を高速に変換、身近なセンシングでも活躍中です。



光半導体デバイス： LED (発光ダイオード)

光半導体はセンサーとして採用されています。これにより、工場の自動化などに貢献しています。



接合関連材料： 異方性導電ペースト

商品管理に活用されているRFID※タグに対応し、効率化に貢献します。



注文

受注 / 発送

※ RFID : Radio Frequency Identificationの略称。非接触で情報を読み書きするシステム



タブレットPC

光学弾性樹脂 (SVR)

ディスプレイと
表面板の隙間を
SVRで埋めて
視認性を向上さ
せます。



自動車のカーナビ



自動車

スマートフォン



反射防止フィルム

表面のフィルムが外光の映り
込みを軽減し、視認性を向上さ
せます。



精密接合用樹脂

スマートフォンの
高解像度カメラの
精密固定に貢献し
ています。

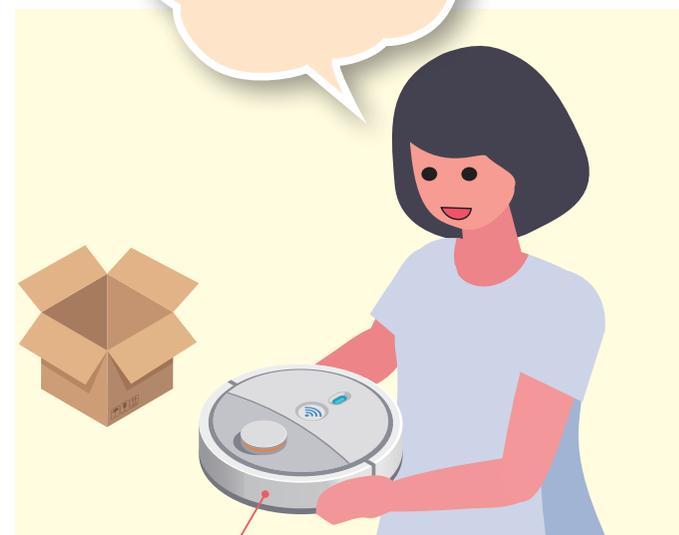


異方性導電膜 (ACF)

ディスプレイやカ
メラモジュールな
どの電子部品の接
続には欠かせない
材料です。



もう届いた！
早速使おう



表面実装型ヒューズ (SCP)

コードレス機器のリチウム
イオンバッテリーに搭載さ
れ、充放電時に異常があれ
ば回路を遮断し安全を確保
します。



配 送

受 取